■ 現目標の状況

【目標設定の考え方】

- ・「大阪の再生・成長に向けた新戦略（2020年12月）」と整合を図りつつ、戦略の数値目標を設定。
- ・戦略策定時は、感染症の状況による変動要因が大きいため、当面の間、新型コロナウイルス感染症発生前の水準（2019年実績）を上回ることを目標とした。
- ・先行きが見通しづらい状況を踏まえ社会経済情勢等の変化に応じて、目標値、達成をめざす時期等について、必要に応じて柔軟に見直しを行うこととしている。

【目標の達成状況】

指標	目標値	達成をめざす時期	達成状況（見込み）
日本人延べ宿泊者数〔大阪〕 ※	3,000万人泊	2023年	目標値達成見込 (2023年見込:3,080万人泊相当)
来阪外国人旅行者数	1,152.5万人 (コロナ前と同水準)	入国規制解除 から2年後	2023年通年ベースではコロナ前の水準には達しないが、直近の訪日外国人旅行者数の 単月ベースではコロナ前と同水準で推移

※ 昨年度、「目標値」を2,950万人泊→3,000万人泊、
「達成をめざす時期」を2022年→2023年に見直し

内外からの誘客に関する数値目標の再設定について (日本人延べ宿泊者数〔大阪〕、来阪外国人旅行者数)

■ 数値目標の再設定

国内外の旅行者数の回復や水際対策の終了などを受け、「達成をめざす時期」及び「目標値」について、見直しを検討。

【達成をめざす時期】

指標	考え方
日本人延べ宿泊者数〔大阪〕 来阪外国人旅行者数	国内外の旅行者数の回復や水際対策の終了などを受け、 現戦略の最終年度である 2025年 に設定

【目標値】

日本人延べ宿泊者数〔大阪〕について（案）

目標値	考え方
3,400万人泊 (対現目標値比：113%)	・2024年度の大阪府内のホテル・旅館の想定客室数 ・2019年の大阪の日本人延べ宿泊者数実績（2,950万人泊）を勘案して設定

来阪外国人旅行者数について（案）

目標値	考え方
1,500万人 (対現目標値比：130%)	・国の目標である「2019年の来阪外国人旅行者数実績（1152.5万人）以上」 ・大阪・関西万博開催による増を勘案して設定